

交通渋滞マネジメント ～渋滞対策のこれまでとこれから～

近年は、自動運転車両の普及などを原因とした車両挙動の変化によって、飽和交通流率や交通容量の低下が観測されるなど、交通流の性質に変化が生じておりこれまでとは異なった手法の交通渋滞マネジメントを行う必要性が生じています。また、災害の多発によって、災害に起因する激しい渋滞を緩和するための適切な交通マネジメントを実施することが期待されています。一方で、プローブカーなどから獲得される質量ともに充実した交通ビッグデータを活用する新しい交通マネジメント技術の開発が期待されています。そこで、本講習会では、交通渋滞マネジメントをテーマとし、高速道路や交差点を対象とした最新の交通渋滞対策事例を紹介するとともに、今後の新しい交通渋滞マネジメントについて展望します。会員の方々をはじめ、多数の皆様のご参加をお待ちしています。

- 主催：一般社団法人 交通工学研究会 <https://www.jste.or.jp/> ■後援：警察庁・国土交通省
 ■開催日：2023年7月13日(木)
 ■会場：内幸町ホール(東京都千代田区内幸町1-5-1) ※オンライン同時配信
 ■参加費：交通工学研究会 正会員 8,250円 特別会員 8,800円 学生会員 3,850円 非会員 9,900円(消費税込)
 ■プログラム (時間を変更する場合もございますのでご了承願います)

<p>1. もしかする未来の交通渋滞マネジメント 携帯を手放せないドライバ、自動運転技術の普及、自転車や電動キックボード利用の広がりなど、最新技術やその普及、将来の見通し、および社会情勢の変化や人々の交通行動の変化などは、果たして交通の流れにどのような影響をもたらすのでしょうか。交通渋滞をマネジメントする視点から、もしかする未来の展望を論じます。</p>	<p>大口 敬 東京大学</p>	<p>10:30～ 11:15</p>
<p>2. 様々なボトルネックと交通流現象解析 交通渋滞に対する適切な対策やマネジメントを立案するためには、ボトルネックにおける交通流現象を的確に理解・把握する必要があります。しかし、一口にボトルネックといっても様々なタイプが存在します。本発表では、各種ボトルネックにおける基本的な渋滞発生メカニズムを紹介するとともに、それらに対する有効な対策手法について考えます。</p>	<p>和田 健太郎 筑波大学</p>	<p>11:15～ 12:15</p>
質疑応答		
昼休み		
<p>3. 民間プローブ等を用いた新しい信号制御について 警察では、今後の交通管制の在り方に関する調査研究を進めており、新たな交通管制システムに関する検討を実施しています。特に民間プローブ情報を活用した信号制御については、今年度実証実験を実施することから、その概要について紹介します。また戦略的イノベーション創造プログラムでのバス交通の円滑化にかかる調査研究について紹介します。</p>	<p>渋谷 秀悦 警察庁</p>	<p>13:20～ 13:55</p>
<p>4. 平常時・災害時における道路交通マネジメント ETC2.0 プローブデータや CCTV カメラの AI 解析による交通量観測など技術の進展により、多種多様なデータが活用可能となっています。国土交通省では、道路を賢く使うため、これらのデータを利用し、平常時の効果的な渋滞対策等を推進しています。また、災害時には平常時と異なる交通状況が発生することから、短時間で特殊な交通マネジメントが必要となる場合があります。これら平常時・災害時における交通マネジメントの取組を紹介します。</p>	<p>大西 宵平 国土交通省</p>	<p>13:55～ 14:45</p>
質疑応答		
休憩		
<p>5. 都市内高速道路における交通渋滞対策 1) 首都高速のネットワーク整備の効果と今後の渋滞対策について 首都高速では、首都圏 3 環状の一部である中央環状線等の開通によって渋滞解消を目指してきました。ただし、いまだ渋滞解消には至っていません。今回は、ネットワーク整備による効果および、今後の機能強化等の考え方をご紹介します。 2) 阪神高速道路における渋滞対策のこれまでとこれから 阪神高速道路では、平成 18 年より企業理念である「先進の道路サービス」の実現を目指し、新たに渋滞対策アクションプログラムを 3 度策定し、渋滞対策に取り組んできました。今回はこれまでに実施してきた渋滞対策のレビューとこれからの渋滞対策について紹介します。</p>	<p>齋藤 純一 首都高速道路株式会社 河本 一郎 阪神高速道路株式会社</p>	<p>15:00～ 16:15</p>
質疑応答		

■参加登録について:

- ・当会ウェブサイト (<https://www.jste.or.jp/events/seminar2023tokyover2/>) の参加申込よりお申込みください。
 - ・本講習会に参加するには、参加登録が必要となりますので、事前に参加登録をお済ませください。
 - ・申込みフォームから参加者情報の送信、参加費納入の両方の手続きが済むと、参加登録が完了となります。
 - ・申込期間：2023年5月下旬～6月30日(金)
 - ・入金期限：2023年7月5日(水)
 - ・参加登録が完了した方には、参加方法や、資料入手方法等のご案内を参加登録されたメールアドレス宛に配信します(7月10日頃を予定)。
- 参加申込や支払いに関するお問合せは、mail：maf-jste.event@mynavi.jp までお願いします。



一般社団法人 交通工学研究会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-23 錦町 MKビル 5 階

※開催に関する緊急の連絡は <https://www.jste.or.jp/> の新着情報にてお知らせいたします。